

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和4年1月)

～まん防により現状判断は急落。悪化幅は過去2番目の規模に～

- 景気ウォッチャー調査・1月調査の近畿地域の結果は、現状判断が40.3と前月比で5か月ぶりの低下となった。前月からは18.4ポイントの大幅な悪化で、2011年3月の東日本大震災以来、過去2番目の悪化幅を記録した。その一方、先行き判断も41.9と4か月連続の低下となった。
- 足元の景気については、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、1月下旬から関西各府県でまん延防止等重点措置が適用。飲食や宿泊をはじめとする業種で、客足が大きく減少した。都市部を中心とした人流も減少が始まり、百貨店やコンビニなどにも影響が広がっている。ただし、以前のまん防適用時に比べると、人流の減少は限定的との声も少なくない。
- 一方、半導体不足のほか、各種の原材料価格の上昇による悪影響は続いており、生産の減少や納期の遅延、収益の悪化といった動きにつながっている。
- 先行きについては、オミクロン株の感染状況、まん防の解除見通しともに不透明であり、不安感が高まっている。3回目のワクチン接種、経口薬の普及への期待が不安を和らげる部分もあるものの、飲食、宿泊関連を中心に先行きへの懸念は強い。それに加えて、各種の原材料コストの上昇が続く中、価格転嫁の見通しは厳しく、先行きを不安視する声も引き続き多い。
- 一方、北京冬季五輪への言及は極めて少ない状況である。東京五輪に続き、コロナ下での開催となったことで、関連消費の増加に対する期待の声は聞かれず、非常に静かな状態となっている。

「まん延防止等重点措置」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	な や や 良 く な っ て い る	スーパー(経営者)	・年明けから1月中旬にかけては厳しかったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、まん延防止等重点措置も適用された結果、家庭での食事が再び増える傾向が、目を追うごとに強まっている。
	変 わ ら な い	コンビニ(店長)	・まん延防止等重点措置の適用などもあるが、ここ数か月は来客数に変化がない。コロナ禍の状況が変わっても、消費者の生活リズムは戻らないように感じる。
		都市型ホテル(管理担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数や収入が減るなど、営業面で落ち込んでいる。これまでは回復傾向にあったが、まん延防止等重点措置の適用で営業時間を短縮する必要があり、厳しい状況が続いている。
	や や 悪 く な っ て い る	一般小売店[花](経営者)	・まん延防止等重点措置の適用により、取引先の休業などが増えている。戻りかけていた売上が再び止まり、景気も下降気味になっている。
		一般小売店[鮮魚](営業担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用される前に、売上の急降下が始まっている。
		コンビニ(経営者)	・まん延防止等重点措置の適用が決まっただけで、来客数が3%減少している。
		家電量販店(店員)	・関西でまん延防止等重点措置が適用され、来店する客が急に減少している。特に、高齢の客が減り、売上に打撃となっている。
		都市型ホテル(総務担当)	・前年の10～12月は新型コロナウイルスの感染が一段落し、利用客も増加に転じるなど、回復が目立っていた。1月以降は初旬からの急激な感染の拡大と、まん延防止等重点措置の適用による利用客の減少が続いている。少なくとも、2月中の利用客の減少は否定できない。
		旅行代理店(役員)	・県民割もあって需要が伸びていたが、ここへきてまん延防止等重点措置の適用が始まり、遠方を始め、近場の旅行需要も激減している。
	通信会社(経営者)	・まん延防止等重点措置の適用により、人流が減少している。	

家計動向関連	な や 悪 く な っ て い る	その他レジャー施設 〔飲食・物販系滞在型 施設〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波に伴う、まん延防止等重点措置の適用で、団体客のキャンセルが出ている。また、一般の観光客の出足にも影響している。
	悪 く な っ て い る	百貨店（売場マネー ジャー）	・新型コロナウイルス発生前の来客数と比べると、11月は16.8%の減少、12月は9.3%の減少と改善傾向にあったが、今年に入って新型コロナウイルスの感染拡大の影響が出ている。まん延防止等重点措置の適用が決まった頃から、急に来客数が減少し、厳しい状況が続いている。
		百貨店（マネー ジャー）	・年明けから新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、大雪などの悪天候も続いたため、客足が伸びていない。まん延防止等重点措置も月末から適用されたことで、早期の売上回復は見込めない。その一方、バレンタインデー関連の催事などでは、にぎわいがみられる。自分への御褒美として高級チョコレートを買いたい客も多く、限定的ではあるものの、消費意欲は引き続き強いと感じている。
		スーパー（店長）	・関西でのまん延防止等重点措置の適用が決まり、1月20日以降、来客数が極端に減っている。
		その他飲食〔自動販売 機（飲料）〕（管理担 当）	・年始以降、人の流れは増えたが、販売の動きは鈍化している。それに加えて、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、まん延防止等重点措置が適用される前から、客の間では自粛ムードが漂っている。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、キャンセルが続いている。利用者の多い大阪や兵庫、京都に、まん延防止等重点措置が適用された影響が出ている。
		都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による、まん延防止等重点措置の適用で、1月以降の予約数は伸びず、低稼働のまま推移している。
		都市型ホテル（販売促 進担当）	・初秋から12月にかけての来客数の増加で、宿泊は好調であった。1月も中旬までは約50%の稼働率であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で急激に落ち込み、月末は37%となる見込みである。レストランも、まん延防止等重点措置の適用決定により、平日の予約が減り始めている。
		旅行代理店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、まん延防止等重点措置が適用され、来客数や受注が減り、キャンセルも増えている。先の旅行の相談もあるが、様子を見ている客が多い。
		旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置の適用で、景気が更に悪化している。
旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による、まん延防止等重点措置の適用により、客の動きがびたりと止まった。特に、2月に延期されていた修学旅行などが中止になるなど、景気は悪くなっている。		
テーマパーク（職員）	・まん延防止等重点措置が適用されてから、明らかに客足が鈍くなっている。新型コロナウイルスオミクロン株は重症化率が低く、インフルエンザと症状がさほど変わらないようにみえるが、現状の対応は、重症化しやすかった初期のままであるため、明らかに過剰な対応が要求されている。		
企業動向関連	変 わ ら な い	金融業〔投資運用業〕 （代表）	・前年11月頃のコロナ禍の収束時には、これで回復基調に乗っていただけると感じたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、まん延防止等重点措置が適用となった。飲食店を中心に、売上確保に苦慮する局面が終わらない。
	な や 悪 く な っ て い る	金融業（営業担当）	・まん延防止等重点措置の適用による影響は大きい。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染第6波の発生で、まん延防止等重点措置の適用も決まり、商店街の夜間の人出が激減している。
	悪 く な っ て い る	不動産業（営業担当）	・当市でもまん延防止等重点措置が適用され、飲食店の営業時間が短くなっているため、飲食店から賃料の値下げ要求がくると予想される。
雇用関連	変 わ ら な い	新聞社〔求人広告〕 （管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大が続いているものの、全体的に3か月前よりも求人数は改善している。ただし、飲食業などの非正規雇用が多い業種では、感染の拡大によるまん延防止等重点措置の適用を見据え、求人数は減少し始めている。
	な や 悪 く な っ て い る	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・コロナ禍が拡大し、まん延防止等重点措置の適用が決まったことで、急激に景気が悪くなっている。

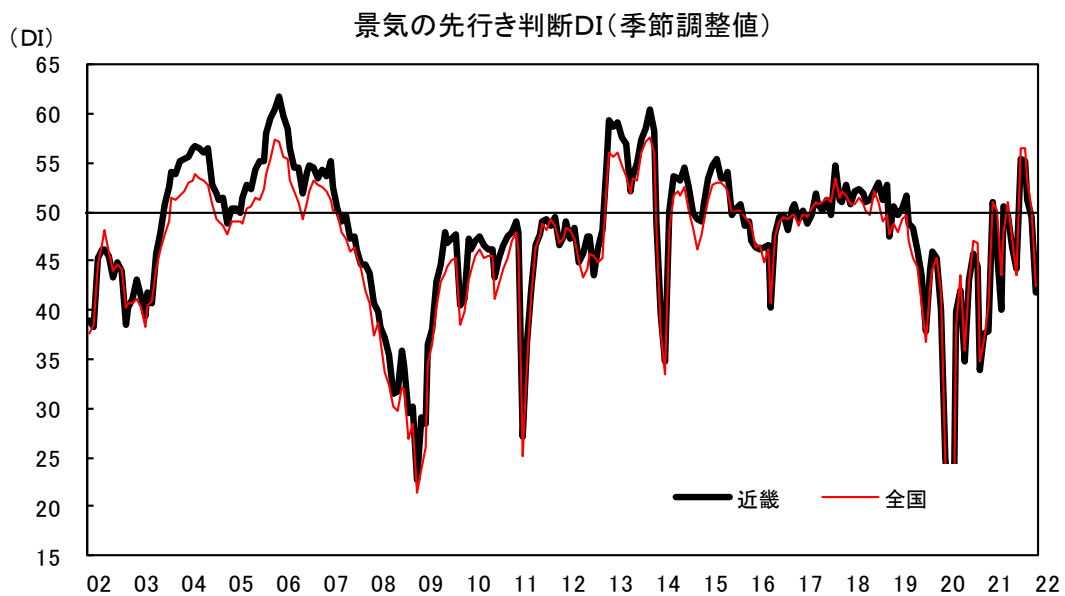
「物価、コスト上昇」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	良くなる	一般小売店〔野菜〕(店長)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、これまで我慢していた分、購買意欲は上がる。ただし、今の物価の上昇がどこまで消費者の動きに影響を与えるのかは分からない。良くなるとは予想されるが、まだまだ先行きは不透明である。
	変わらない	百貨店(マネージャー)	・全体的に、国内の消費や流通は緩やかな回復傾向にある。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染対策の方向性や、原材料価格や物価の上昇による購買意欲の減退については気掛かりであり、一進一退の状態となることが予想される。
		スーパー(企画担当)	・日用品の値上がりで、特売品の買い回り傾向が続くと予想される。
		スーパー(開発担当)	・春には食品の値上げも予定されている。賃金が上がらず、値上げが進む状況では、景気が良くなる可能性はほとんどない。
		コンビニ(店員)	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは不安定な状態が続く。様々な商品の値上げも増えており、購買意欲は上向かない。
		乗用車販売店(経営者)	・ガソリン価格の高騰が止まらず、中古車価格の上昇も止まらない。売りにくく、買にくい日々がまだ続くと予想される。
		その他専門店〔宝石〕(経営者)	・3か月もたてば、新型コロナウイルスの感染は落ち着いてくると予想されるが、物価がまだ上昇傾向にあるため、心配である。
	やや悪くなる	百貨店(服飾品担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数のピークはまだ分からない状況で、来客数が戻りきらないことが予測され、中間層を対象にした商材の動向は厳しいと予想される。2月に5~8%の値上げが予定されているラグジュアリー関連も、1月に販売が増えた反動で苦戦が予想される。一方、若年層の来店は厳しいながらも動きが見られ、バレンタインデー商戦は来客数が減っている割に好調に推移している。わざわざ足を運ぶ価値のある仕掛けには、客の反応がみられるなど、決して悪いばかりの状況ではない。
		スーパー(経営者)	・輸入原材料に頼る多くの加工食品や、生産に重油を使うような野菜や果物の価格が高止まりしている。賃上げが一部の産業や大手企業だけではなく、中小企業や個人事業主にも広がらなければ、財布のひもが固くなる。今後、コスト上昇分の価格転嫁が希望どおりに進まなければ、利益の減少に直結する。
		家電量販店(店員)	・燃料費の高騰は、やはり生活費への影響が大きい。光熱費の上昇で家計の圧迫が大きく進めば、買い控えも起きるため、夏のボーナス商戦までは厳しい状況が続く。
		乗用車販売店(経営者)	・もう2年以上続いているコロナ禍による制約で、中小企業の体力は限界にきている。原油高による仕入れコストの上昇や社会保険料の負担増により、企業経営を継続する気力がなくなっている。
		住関連専門店(店長)	・輸入に伴う輸送コストなどの高騰に耐えきれず、やむを得ず販売価格を値上げした。その影響で、買い控えが数か月続くことを懸念している。
		その他住宅〔情報誌〕(編集者)	・不動産価格、特にマンション価格の高騰による影響が、徐々に販売の減速につながる。特に、株価との連動が大きい、高額物件の動きの悪化が懸念される。
	悪くなる	一般小売店〔貴金属製品〕(従業員)	・物価上昇の影響が出てくる。
競輪場(職員)	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響や、原油や食品価格などの上昇で、良くなるとは思えない。		
企業動向関連	良くなる	木材木製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大しているが、長くは続かないとの見方も出ている。輸入品の輸送費の高騰や、コンテナの不足はあるが、今後は受注が増える見込みであり、輸送費も旧正月明けには次第に落ち着くと予想もある。それに伴い、売上、利益共に増加が見込まれる。
	変わらない	化学工業(企画担当)	・食品の原料価格の高騰に加えて、設備投資に必要な電子機器などの不足で、様々な厳しい状況が慢性化している。
		一般機械器具製造業(設計担当)	・物価が少しずつ上昇する一方、消費者の収入は増加する見込みがない。
		建設業(経営者)	・多くの建設資材の納期が確定しない状況で、資材の不足や価格の高騰で苦慮している。客に現状を理解してもらうために説明しているほか、設備投資の予算や工期を見直してもらえよう努力している。
	やや悪くなる	繊維工業(総務担当)	・前期と比べて、原料価格の上昇やコロナ禍の影響で、利益率の低下や売上の減少が続いている。
		化学工業(管理担当)	・製品の出荷量は下げ止まりが予想される一方、原材料である化学品の価格高騰はかなり激しい。
雇用関連	変わらない	職業安定所(職員)	・まん延防止等重点措置の適用が再度決定したことにより、宿泊や飲食サービス業への影響が懸念される。また、原材料価格の高騰、半導体不足、運輸コストの上昇といった不安要素が、景気の回復を遅らせる。
	くや悪くなる	職業安定所(職員)	・先行きについて、企業からは新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大への懸念や、原油や原材料価格の高騰、物流の停滞に対する懸念が寄せられており、引き続き注意が必要となっている。

「ワクチン・経口薬」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	な 良 る く	百貨店 (営業推進担当)	・新型コロナウイルスの感染第6波のピークアウト後、3回目のワクチン接種の動きとともに、経済活動も活発化する。
	やや良くなる	百貨店 (マネージャー)	・爆発的な感染拡大がみられる新型コロナウイルスオミクロン株であるが、ピークアウトすれば感染は落ち着くと予想している。また、3度目のワクチン接種で安心感も広がり、再び人流が戻ってくると考えている。急激な売上回復は困難でも、春の新生活需要などを中心に、徐々に消費意欲が戻ってくるという見通しを持っている。
		コンビニ (店員)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、人出が増えて来客数も増加する。ただし、ワクチンの接種状況や、新たな新型コロナウイルス変異株の発生などに左右される。
		一般レストラン (店員)	・3回目のワクチン接種が増えて、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、来客数が増加する。
		都市型ホテル (スタッフ)	・年初からの新型コロナウイルスの感染拡大により、各部署でキャンセルが相次ぐ結果となった。2月以降も株主総会以外はキャンセルとなり、会食や宴会も少人数での予約以外はキャンセルとなっている。ワクチン・検査パッケージの登録は行っているものの、ホテルとしても客に利用を勧められる状況ではなく、しばらくは厳しい状況が続く。
		都市型ホテル (総務担当)	・新型コロナウイルスの感染が収まってくるほか、3回目のワクチン接種が進むことを想定すれば、消費行動が再び増えてくる。
		旅行代理店 (支店長)	・新型コロナウイルスの経口薬の普及で、感染症の指定を2類から5類に変更するなど、2～3か月先にはそろそろ新型コロナウイルスとの共生を、口だけではなく実行するタイミングが訪れるはずである。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株は感染しても重症化しにくいと、感染の拡大期がそれほど長くないと感じている人も多い。ワクチン接種の効果もあり、今後は徐々に元に戻ると感じている。
	変わらない	百貨店 (外商担当)	・当面は、新型コロナウイルスの感染が落ち着く気配がなく、ワクチンが行き渡るまでは今の状況が続くと予想される。
		一般レストラン (経営者)	・どれだけ慎重に感染対策を行っても、新型コロナウイルスに感染している状況から、アクリル板やマスク会食では余り意味がないと感じる。もう少し治療薬の普及やワクチンの接種が進まなければ、外食の安心感には戻らない。以前のことが普通にできるようになるまでには、まだまだ時間が掛かる。
やや悪くなる	一般小売店 [衣服] (経営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しているため、現状は良くなることはない。3回目のワクチン接種を早急に進めたとしても、まだしばらくは苦しい時期が続く。	
	百貨店 (販促担当)	・先の予定が立たない状況になり、卒業、入学需要などにも影響が出る。2年ぶりの春の旅行といった明るい気分が一転し、3回目のワクチン接種に関心が集まるなど、生活防衛意識が高まることで、厳しい消費環境となる。政府の方針が曖昧なこともあり、消費者の心理や行動がうまくコントロールできておらず、不安ばかりが目立っている。	
	コンビニ (店員)	・人流が減っていると率直に感じるため、しばらくはこの傾向が続くと予想される。ただし、ワクチンの接種が進めば、また戻ってくることが予想される。前回は戻り始めれば、通常の来客数に戻るのには早かったため、その点は心配がないと感じる。	
企業関連	変わらない	司法書士	・新型コロナウイルスの感染状況による影響が大きいが、ワクチン接種の遅れや、検査キットの不足による問題もあり、2～3か月後の景気はかなり厳しくなる。
	その他サービス業 [店舗開発] (従業員)	・新型コロナウイルスオミクロン株の症状は比較的軽症であるため、経口薬などの効果はある程度期待できそうである。一方、報道によると、新型コロナウイルスオミクロン株が派生型に置き換わりつつあるため、感染第6波は長期化すると予想される。	
雇用関連	変わらない	新聞社 [求人広告] (管理担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大が続いているほか、3回目のワクチン接種も遅れているため、今後の感染状況次第で景気ほどの方向にも向かう可能性がある。ただし、消費者も重症化リスクの低さを認識しており、人流が極端に減り、消費が冷え込む可能性は低い。感染のピークが近いとの報道から、企業も感染収束後を見据えた採用計画を立てる傾向にあり、求人数が極端に減少する気配もないため、景気が一気に悪化する可能性は低い。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		20年												21年												22年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
現 状 判 断	近畿	43.5	27.1	13.5	6.6	16.7	36.6	40.2	42.6	47.4	50.7	42.6	36.0	33.2	43.7	48.5	31.4	34.7	46.2	47.5	35.3	42.7	54.1	57.3	58.7	40.3
	(全国)	42.3	28.4	14.7	9.1	16.7	39.0	41.8	44.1	47.7	52.7	44.2	35.3	31.9	41.7	48.5	39.0	37.8	46.5	48.0	34.9	42.3	55.1	56.8	57.5	37.9
先 行 き 判 断	近畿	40.0	24.9	19.2	20.8	39.9	42.0	34.8	43.2	45.7	44.4	33.8	37.6	37.8	51.0	46.0	40.0	50.5	49.7	46.3	44.3	55.4	55.1	51.3	49.4	41.9
	(全国)	41.8	24.6	20.1	19.3	38.2	43.5	35.8	42.8	47.1	46.9	34.7	36.9	40.4	51.0	50.2	43.5	48.0	51.1	47.3	43.5	56.6	56.6	53.2	50.3	42.5

※季節調整値